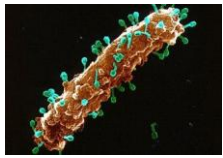
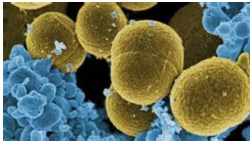




抗ウイルス/消臭/抗菌/防カビ/ホルムアルデヒド消臭

シュパット

天然抽出成分：複合アミノ酸、植物抽出物、穀物抽出物、シヨ糖脂肪酸エステル、クエン酸、エチドロン酸、精製水

A4 用紙大面積に 30cm の距離からワンプッシュが目安

	抗ウイルス機能 抗ウイルス試験において優れた効果を実証
	抗菌力 混合アミノ酸と天然植物抽出液で 強力な抗菌力を持ち、室内空間を清潔に
	強力な消臭効果 強い浸透力で染み込んだ臭いにも消臭力を発揮 タバコ、ゴミ、トイレなどの生活空間の悪臭を除去
	優れた安全性 天然由来原料を主成分とし、皮膚一時刺激性試験及び 経口毒性試験においても、高い安全性が証明されています

シュパットの抗ウイルス・抗菌試験結果

ウイルス名	試験開始時又は対照	経過時間	結果	試験機関
新型ウイルス H1N1	3.85E+06	10 分後	<0(検出せず)	中部大学生命健康科学部
ネコカリシウイルス ※ノロウイルス代替	LogTCID ₅₀ /ml7.0	5 分後	<0(検出せず)	NATIONAL GENGWON UNIVERSITY
SARS ウイルス	5×10 ⁶ TCID ₅₀	5 分後	検出せず	中国人民解放軍 軍事医学科学院
病原性鳥インフルエンザ ウイルス	1.0×10 ⁷	10 分後	<0(検出せず)	中国人民解放軍 軍事医学科学院
菌名	試験開始時又は対照	経過時間	結果	試験機関
大腸菌 O-157,H7	3.3×10 ⁵	10 分後	<100(検出せず)	(財)日本食品分析センター
サルモネラ菌	1.0×10 ⁶	10 分後	<100(検出せず)	(財)日本食品分析センター
緑膿菌	4.2×10 ⁵⁰	10 分後	<100(検出せず)	(財)日本食品分析センター
大腸菌	8.1×10 ⁵	10 分後	<100(検出せず)	(財)日本食品分析センター
黄色ブドウ球菌	4.0×10 ⁵	10 分後	<100(検出せず)	(財)日本食品分析センター

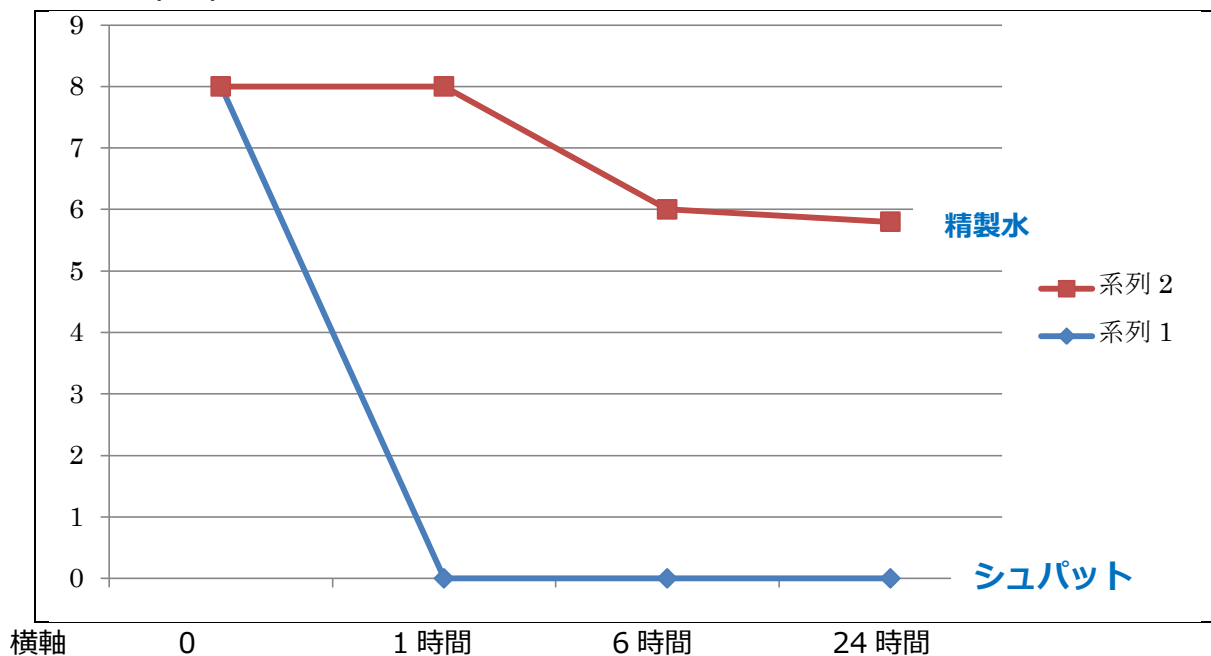
最近、抗菌消臭剤は、天然抽出成分で構成された商品が多く見られるようになりました。このシュパットは、上記試験結果一覧にありますように、各種ウイルスに対しても作用する画期的な商品です。アルコールが抗菌剤として広く使われておりますが持続時間は数 10 分といわれ、当商品は、次ページの下段の折れ線グラフにありますように長時間抗菌力を発揮します。また、シックハウスの原因物質の制御にも効果を発揮します。

シュパットの消臭結果

物質名	規制濃度 ppm	水溶性	臭い	当製品の消臭効果
アンモニア	2.000	水 100g に 89.9g	し尿のような臭い	◎
メチルメルカプタン	0.004	微溶	腐った玉ねぎのような臭い	◎
硫化水素	0.060	水 100g に 437cc	腐った卵のような臭い	◎
硫化メチル	0.050	不溶	腐ったキャベツのような臭い	○
二硫化メチル	0.030	—	腐ったキャベツのような臭い	○
トリメチルアミン	0.020	易溶	腐った魚のような臭い	◎
アセトアルデヒド	0.100	∞	刺激的な青臭い臭い	◎
プロピオンアルデヒド	0.100	水 100g に 16.15g	刺激的な甘酸っぱい焦げた臭い	○
ノルマルブチルアルデヒド	0.030	水 100g に 3.7g	刺激的な甘酸っぱい焦げた臭い	◎
イソブチルアルデヒド	0.070	水 100g に 8.8g	刺激的な甘酸っぱい焦げた臭い	○
ノルマルバレリルアルデヒド	0.020	微溶	むせるような甘酸っぱい焦げた臭い	○
イソバレリルアルデヒド	0.006	微溶	むせるような甘酸っぱい焦げた臭い	◎

シュパットのサルモレラ菌抗菌カテスト

縦軸 生菌数(/ml)×100,000



成分が有害物質に素早く吸着→浸透→変質(分解)して不活性化

- 微粒子化技術により荷電結合している各成分が細菌細胞膜に速やかに吸着結合
- 細胞膜に浸透し細胞膜を破壊
- イオン体活性成分が細菌蛋白質を劣化・破壊させて細菌を死滅
- 更にウイルスにも優れた制御作用をもたらします

消臭・抗菌・ウイルス不活性化のメカニズム

- 複合アミノ酸、植物抽出物、穀物抽出物の成分が細菌細胞膜に速やかに吸着結合し細胞膜を破壊
- イオン体活性成分が細菌蛋白質を劣化・破壊させて細菌を死滅させます。熱による作用でも同様の作用をすることが出来ますが、抗菌対象物が熱による変質・変性を起こす場合があります、シュパットは、スプレーもしくは塗布することで、常温で細菌を死滅することが可能です。
- 微粒子イオン化された活性成分が細胞膜内に入り込むことで高い浸透力により、一般の抗菌剤では殺菌出来ない細菌を制御します。
- 前記試験結果一覧に掲載されているようにウイルスにも優れた制御作用をもたらします。抗菌消臭剤は数多く存在しますが、ウイルス制御出来るのは当商品の大きな性能特徴であります。

細菌とウイルスは異なる物質です。それぞれの違いを一覧にします

	大腸菌	ウイルス
構成単位	細胞	ウイルス粒子
遺伝子情報の担体	DNA	DNA または RNA
増殖様式	対数増殖	一段階増殖
ATP の合成	できる	できない
蛋白質の合成	できる	できない
細胞壁	ある	ない
単独で増殖	できる	できない

シュパットの Q&A

手や指に使用可能か	手指消毒用として製造されておりませんので使用しないでください。 ただし、安全性試験結果、体に付着しても問題ありません。
シュパットが 使えないところ	水に弱い繊維(皮革・絹・アンゴラ・レーヨン)や防水加工したものなどは風合いを損ねたり、しみや変色の恐れがあります。ご使用前には目立たない部分でお試しく下さい。和装・白木・電源コードやモーターの基盤などには使用しないでください。
シュパットの使用制限	常温で直射日光が当たらない場所で 2 年間の保存が可能です。 また、開封後の使用期限は、6 ヶ月としております。
食べ物/食器に使用可か	食品添加物ではないので、食品にはご使用になれません。
噴霧後、布で拭いても効果は変わりありませんか	そのままでも拭いていただいても効果は変わりません。
誤って飲み込んだり 目に入ってしまったら	成分の安全性は高いですが、目の場合は念のため清水で洗い流すことをお勧めします。気になる場合は、医師に相談ください。
洗浄効果はありますか	洗浄効果は御座いませんので、洗浄剤をご使用ください。
消臭効果はどれくらい持続しますか	悪臭成分が取り除かれた場合は、臭いが発生することはありません。 また、消臭成分が残っている間は、後から悪臭成分が付着しても消臭効果は持続します。
水で薄めて使用しても良いか	シュパットは成分を最適な濃度にしてあります。効果が低減しますので希釈せずご使用ください。
火のそばで使用可能か	シュパットのアルコール含有量は 2.0%以下ですので引火の危険性は御座いません。引火などの危険性は御座いませんので安心してお使いください。

各種・同類品との比較

	シュパット	銀イオン	オゾン	アルコール
抗菌メカニズム	微粒子化されたイオン化混合体の結合・浸透・劣化破壊	負帯電した銀イオン間で生じる静電気付着により酸化破壊	酸化分解反応	細胞膜破壊
消臭メカニズム	臭い成分や原因菌・原因物質を吸着分解・消滅して消臭	銀イオンが酸素と結合してラジカルを発生、臭気成分と化学変化	酸化分解反応	吸着浸透
水溶性	溶けやすい	イオン状態で融解可能	溶けにくい	溶けやすい
成分臭	微アルコール臭	なし	オゾン臭	強いアルコール臭
濃度	希釈する必要なし	非経済的	濃度コントロール必要	一定濃度以下効果薄い
他材料への影響	金属・ゴムなど劣化なし	塩化物と反応して効果減衰	金属・ゴムの劣化	一部化合物製品の劣化
臭い分解即効性	あり	なし	あり	多少あり
持続性	あり	あり	なし	なし
安全性	安全	問題なし	危険性あり	引火性、手荒れ

安全性

シュパットの主成分は天然由来成分なのでケミカル系特有の刺激はありません。また、一覧にありますように各種安全性試験を実施し、問題なしとの結果から人にもペットにも安心して使える製品です。

試験名	結果	詳細	試験機関
皮膚一次刺激試験	「非刺激性 (10.I.I=0.1-0.21)」 『OECD 化学毒性試験の指標』	身体(皮膚)に付着した場合の影響を調べた結果、問題ない基準。	KEMTI
急性経口毒性試験 (LD50)	ラットLD50= 2000mg/kg 以上 『KFDA200560 医薬品等毒性試験指針』	仮に経口した場合の毒性の有無や影響を調べた結果、問題ない基準。	KEMTI
皮膚感作性試験	皮膚感作性無し 『KFDA200560 医薬品等毒性試験指針』	皮膚に付着した時のアレルギー反応を調べる試験にて問題なしとの見解。	KEMTI
変異原生試験	「陰性(変異誘発起生性は認められず) 『KFDA200560 医薬品等毒性試験指針』	細胞の DNA や染色体への影響、突然変異や薬剤耐性を誘起しないか調べる試験にて陰性との結果。	KEMTI

納入実績：介護用ベッドメーカー／愛知県内特別養護老人ホーム&食鶏加工協同組合

「シュパット」の使用例



OA 機器は、布にスプレーして拭いてください

皮革製品は、目立たないところでテストし
色の変化がないことを確認してから使用ください

殺菌・消毒・除菌・抗菌・滅菌の説明

滅菌

微生物やウイルスなどすべての菌を死滅させ除去

日本薬局方では微生物の生存する確率が 100 万分の 1 以下になることが滅菌と定義
強力なので人体は非対照で器具などが対象 (例:煮沸すると細胞破壊が起こる)

殺菌 薬事法用語

細菌を死滅させるもこの用語には、殺す対象や殺した程度を含んではない
一部を殺しただけでも殺菌といえ、有効性を保証したものではない
殺菌という表現は、医薬品や、薬用石けんなどの「医薬部外品」で使用可
洗剤や漂白剤などの「雑貨品」については使用不可

消毒 薬事法用語

物体や生体に付着または含まれている病原性微生物を死滅または除去させ、害のない程度まで減らす。
または、感染力を失わせるなどして毒性を無力化させること
一般に「消毒殺菌」という慣用語が使われることもあり、消毒の手段として殺菌が行なわれることもあります。ただし、病原性をなくする方法としては殺菌以外にもあるので、滅菌とも殺菌とも違うという
意味で、使い分けがされています。

除菌 雑貨用語

物体や液体といった対象物や限られた空間に含まれる微生物の数を減らし清浄度を高める法律上では
食品衛生法の省令で「ろ過等により、原水等に由来して当該食品中に存在し、かつ、発育し得る微生物
を除去することをいう」と規定されています。洗剤・石けん公正取引協議会が定義する除菌とは「物理
的、化学的または生物学的作用などにより、対象物から増殖可能な細菌の数(生菌数)を、有効数減少さ
せること」
この細菌にはカビや酵母などの真菌類は含まれません。

抗菌 雑貨用語

「抗菌」とは「菌の繁殖を防止する」という意味
経済産業省の定義では、抗菌の対象を細菌のみとしています
JIS 規格でその試験法を規定していますが、抗菌仕様製品では、カビ、黒ずみ、ヌメリは効果の対象外
とされています。

滅菌

微生物を特に限定せずその量を減少させる

「消毒」と同じように器具・用具などについて使われることがあります。

販売元 エコショップ ecomo

〒134-0084 東京都江戸川区東葛西 5-16-12 TEL:03-3868-2963 FAX:03-3868-3113